

January 2021

あけましておめでとうございます

2020年は、忘れられない年となることでしょう。長年の経験から積み重ねてきた生活のありとあらゆる分野での健康と安全に関する概念が、コロナ・ウイルスのおかげで根本から考え直させられる年でした。

州や地域の命令は、ビジネスにも生活にも日々大きな影響を与えています。セントラル・カリフォルニア・カンファレンスも州全体の制限の及ぶ範囲外とはなっていません。

カンファレンスの立場からみなさんにお伝えしたいのは、我々もカリフォルニア州が出しているカリフォルニア州地域別自宅待機令 (California Regional Stay at Home Order) に従わなければならないということです。

2020年12月3日に発表された地域別自宅待機令 (The Regional Stay Home Order) と、2020年12月6日に追加された条項は、ICUの病床確保率が15%を下回ったと発表された翌日の午後11時59分より施行されます。追加条項は、物品販売をする事業所においては、発表直後に施行されると明記されています。また、生活に必要な施設や物品販売を除く、私的機関による集会やセクト的な活動はその規模の大きさに関わらず禁止となり、マスクの着用と他人と物理的に距離を取ることは、100%しなければなりません。(ただしマスク着用については、マスクの使用についてのガイダンスに示されている例外を除きます)

どうしても必要とされるものを除き、ありとあらゆる、室内での集会やミーティングは、地域別自宅待機令によって、禁止されていることにご注意ください。

一度施行されれば、この命令は少なくとも3週間は有効となり、その期間後は、地域ごとにICU病床数率が15%あるいはそれ以上となったときに、解禁となります。これは、施行後、最初の3週間が経過したあとは、1週間ごとに査定されます。

2020年12月21日、制限付自宅待機令の補完 (a Supplement to the Limited Stay Home Order) が署名されました。この補完により、制限付自宅待機令は、カリフォルニア全州で地域別自宅待機令が終了するまで、延長となります。「より安全な経済のための青写真」 (the Blueprint for a Safer Economy) が示す、広範囲感染 (紫) のカウンティに加え、制限付自宅待機令は、地域別自宅待機令が有効となっている郡でも有効となります。それにより、不要な物品販売活動は、午後10時から翌日午前5時 (太平洋時間) まで禁止となります。

つまり、カリフォルニアのほとんどんカウンティで、少なくとも2021年1月15日まで、地域別自宅待機令が有効となります。住んでいるカウンティの最新情報は、「より安全な経済のための青写真」ガイドラインのウェブサイトをご覧ください。



これは、CCCはなく、カリフォルニア州の要求であることをご理解ください。つまり、今回は牧師を含む全教区職員が、州や地域の命令に従うようお願いするものです。

COVID-19パンデミックは、昨年の初めには全く予想不可能な多くに変化とチャレンジをもたらし、私たちの生きる生活さえも変えてしまっています。アメリカ全土や地球全体で、仕事も様々な活動もウイルス感染を食い止めるために変えてゆかねばなりません。つまり、何百万という人たちは自宅で仕事をするとなり、通勤する人たちも、極度に試練の多い条件で仕事を続けなければなりません。

セントラル・カリフォルニア・カンファレンスの人事副主任として、安全リスク委員会の働きを誇りに思います。これからも引き続き、教区全体がより安全に、より健康に、より社会全体の益となるように、パンデミックの間、私たちの組織を守るように助け、必要なツールを集め、ガイダンスをつくり高いレベルの安全と健康の基準を維持してゆく所存です。

2021年は始まったばかりです。みなさんとCCCのコミュニティーが安全で健康を維持できるように、一緒に歩んでゆこうではありませんか。

2021年が最高の年となりますように、心から願っております。

Sincerely,  
Pastor David R. Hudgens  
VP Personnel and Human Resources

